令和4年東根市議会第4回定例会 一般質問発言通告書

令和4年12月5日(月)午前10時開議

番号	質問者	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
1	山科幸員	1. 公有財産の活用及び管理、処分について	1. 市が保有する財産は、公有財産として地方自治法第 238 条第 3 項の規定により「行政財産」と「普通財産」に分類されている。 公有地は市の貴重な財産であり、積極的な有効活用と適正な管理、処分を行うべきであるため、次のことについて何う。 (1) 市が保有する財産の状況について 1) 公有財産の状況及び近年の増減はどうか。 2) 用途廃止予定、又は決定している行政財産について 3) 普通財産のうち貸付などに利用されている財産について (2) 目的のない普通財産は処分が原則であり、地域の課題や公益のために有効活用し維持管理にかかる経費の削減につなげるなど積極的な活用を図るために、次の点について何う。 1) 現在、地域や団体に貸付している財産の実績について 2) 貸付における期間や維持管理について、公平有効に活用するためのガイドラインや基準はどのようになっているか。 3) 財産の処分時における市民への周知と公募はどうか。 (3) 行政財産は担当課、普通財産は財政課が所管しているが、取得、管理、運用、処分について、市としての基本的な考えを何う。	市長
2	高橋 弓嗣	1. 東根市デジタル変革 (DX) 推進に向けた 施策について	1. 市民サービスのデジタル変革の推進について 行政手続のデジタル化において、本市にかかわる 子育て関係・介護関係の26手続のオンライン化に向 けた調整を進めるとあるが、その内容について伺う。 2. 行政デジタル変革の推進について 令和7年度までに、全国の自治体が標準化基準に 適合したシステムへ移行しなくてはならないが、本 市の進め方について伺う。 3. 地域デジタル変革の推進について 新型コロナウイルス感染症拡大により、デジタル 化が様々な場面で急速に進展したが、本市での地域 振興や産業・観光振興に関する事業において、成果 と展望を伺う。	市 長

3	滝口 公一 議 員	1. 環境問題に対する取 組と方向性について	 令和2年1月に、県内ではいち早くゼロカーボンシティ宣言をした本市の取組状況を伺う。 地球温暖化対策事業が本年度から拡充されたが、それらを含む各種支援制度の利用状況について伺う。 	市	長
4	東海林克彦	1. 東根市公営住宅等長寿命化計画の進捗について	 現在の進捗状況は。 昭和30年代に建設され、建替えと判定されている 木造家屋はいつまで供用するのか。 本計画は令和5年度が計画の最終年次となっているが、令和6年度以降の計画はどのようにするのか。 	市	長
		2. 高速道路開通における東根 I C及び東根 北 I Cへのアクセス 道路の渋滞対策につ いて	1. 国・県による対策が進められているとのことだが、 市の対応はどのようになっているのか。	市	長
5	片桐 勝 寿 員	1. 本市の空き家対策について	1. 令和3年6月に、議会より市長に対して「空き家対策について」の政策提言を提出させていただいた。空き家対策は、本市の今後の税収、公共事業、まち景観・公衆衛生、防犯・防災など様々な分野に影響を与えるものであり、全庁的な対応が求められる分野であると考える。 そこで政策提言の中から以下の事項について伺う。 (1) 空き家発生予防対策について 1) 「空き家発生予防のための啓蒙」に対する本市の考え方及び対応の状況について 2) 空き家になる前のマッチングの仕組みの創設に関しどう考えるか。 (2) 今ある空き家への対策について 1) 空き家バンクについて ①空き家バンクへの登録が伸びない理由をどう考えるか。 ②空き家バンクの目的をどのように捉えているか。 2) 動き始めて2年目になる「東根市老朽危険空家等除却支援事業補助金」のこれまでの実績について 3) 特定空き家」の現状はどうなっているか。 ②「特定空き家」の現状はどうなっているか。 ②「特定空き家」の現状はどうなっているか。	市	長

令和4年東根市議会第4回定例会 一般質問発言通告書

令和4年12月6日(火)午前10時開議

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	三宅 一人	1. 本市の都市公園の現 状について	 都市公園の設置状況、利用状況について伺う。 公園施設の維持管理、遊具の点検や修繕について 伺う。 災害時の利活用について伺う。 	市長
		2. 街路樹について	 1. 街路樹が植栽されている路線の現状について伺う。 2. 街路樹の点検や、維持管理はどのようにされているのか伺う。 3. 植栽ますの維持管理について伺う。 	市長
7	植松 議 員	1. 加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助について	1. 少子高齢化社会に突入した日本では、社会の活性化のためにも、高齢者の社会参加がこれまで以上に活発にならなければならない。しかし、加齢性難聴による機能の低下は日常生活が不便になり、コミュニケーションを困難にするなど、生活の質を落とす要因となり、うつや認知症の危険因子ともなっている。 高齢になっても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができるよう、東根市として加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成をすべきと考えるが、以下について市の対応を伺う。 (1) 市内高齢者の聴力低下の状況をどのように把握しているか。 (2) 加齢性難聴者は本人が気づきにくいため、市の集団健診の際に聴力検査も実施できないか。 (3) 加齢性難聴者の補聴器購入に対して、東根市独自に公的補助制度を創設できないか。	市長
8	河村 豊 議 員	1. 全ての妊産婦・子育 て家庭が、安心して出 産・子育てできる環境 整備について	 「伴走型相談支援」の実施について 子育て家庭への「経済的支援」の取組について 出産・子育て応援の充実について 	市長

9	齋藤俊一郎	1. コロナ後の新たな 「経済政策と地域活性 化」について		市		長
		2. ゼロカーボンシティ の実現に向けた「エネ ルギーの自立」促進に ついて	 社会情勢の変化に伴うエネルギーの自家消費に向けた見解を伺う。 家庭用蓄電池の設置について助成制度の要件拡大等、今後の方針を伺う。 既存住宅の省エネ化に向けた方針を伺う。 	市		長
		3. 「こどもや若者の声」 を活かした市政の実現 に向けて	1. 学校における子どもの権利に関する教育の現状と方針を伺う。	教	育	長